



東日暮里幼稚園だより

荒川区立東日暮里幼稚園
／ 荒川区立第三日暮里小学校併設園

発行日 令和5年5月31日

発行者 園長 村山 貞則

6月

関わりの中で

園長 村山 貞則

晴れたり雨が降ったり、天気の移り変わりが多い季節です。そのような中、室内や屋外に関係なく、汗ばみながら日々いろいろな遊びを子どもたちは楽しんでいます。

砂場では、友だちと「山をつくってみよう。」「いいね。」「水を流してみようよ。」「じゃあ水を運んでくるね。」「ありがとう。」という会話や行動。鉄棒では、「園長先生、見て。」と見事に逆上がりを披露してくれる子。その様子を見て、「園長先生、〇〇君、すごいね。すごいね。」と笑顔で言う子、自分もやってみたいと何回も挑戦する子の姿がありました。また、色水づくりをする中で、「この色とこの色を混ぜたらいいよ。」と友だちから聞いてやってみる子、「〇〇さんの色すごくきれいだよ。」と紹介してくれる子がいました。どの遊びでもいきいきと活動していてうれしく思いました。

そして、より嬉しく感じたのは、友だちを温かく賞賛する言葉や友だちの様子を見て自分のより良い行動に結びつけている様子が見られたことです。友だちの頑張りを褒めることが自然とできていること、友だちから影響を受けて自分も向上心をもって取り組んでいること、温かい協力的な態度、教職員一同でそれができている場面を見逃さず、できていた子に「友達へ今のように言える〇〇君は素晴らしいね。素敵だね。」のように、その場で伝え、良い言動を広げていきたいです。

先月の遠足の時も、年長さんの子がペアになっている年中さんの子に、素敵な笑顔とともに「よろしくね。」と言って、つなぐ手をだしている様子がありました。相手の子はとても安心して嬉しそうな顔をしていました。何気ない行動ですが、私は「今の言葉のかけ方は、相手を思い相手を嬉しい気持ちにさせていて、とても素晴らしいですね。それができる〇〇さんは素敵です。」と言葉かけをしました。本人も嬉しそうでした。

子どもたちは、友だちや周りの人との関わりの中で成長していきます。関わりの中での良い言動に注目し、そして大切にしながら、教育活動を進めてまいります。今後とも、子どもたちのより良い成長のために、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

